

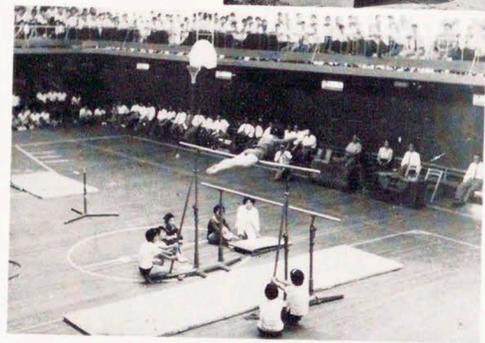
# つめまひ

第16号

須賀学園生徒会



創立60周年記念体育館



体育館開き  
日大生による体操模範演技



第二回定期音楽会 800名のハレルヤ・コーラス



校長 須賀友正

校長 須賀友正

「二十世紀は児童の、世紀である」とは、エレン・ケイ女史の名言であるが、それにならって「二十世紀後半は、女性の世代である」と、私は言いたい。それ程、現代は、女性が社会の中核に前向きになって来ている。

明治の中期に、初代校長須賀栄子先生は、いちはやく、女子教育の重要性を察知して、本校を創立せられたのであった。爾来、六十余年、本校はその建学精神に沿って今日の隆昌に到達して来た次第であるが、現在は、伝統の家庭科の外、就職を目標とする商業科、進学をめざす普通科の各コースを併置して、各コースそれぞれ所期の成績をあげているのである。

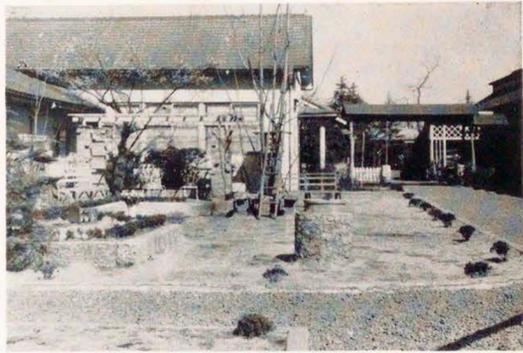
さて、昨年度は、創立六十周年記念式典をはじめ、数々の行事を盛大に催したが、本年度に入り、近代的感觉にあふれた堂々たる記念体育館が竣工し、去る二月十日、十一日両日、体育館落成記念バザーを開催した。

体育館の建設によって、体育科の授業はいうまでもなく、生徒会体育部の成績は、飛躍的に充実発展し、従来の実績を上回るものを示したが、文化部においても、比類のない成績をあげた。即ち、弁論部が各地の大会で優勝、オーケストラ部もまた、県芸術祭に優勝して、東日本大会に出場、優秀第二席の栄誉をかちえた。

かく、体育部・文化部揃って、目覚ましい活躍を示したことは、まことに女性活動の世代を裏書きするものではあるまいか。今後も、いよいよ出でていよいよ秀れた飛躍を期待してやまない。

「ひめまつ」第十六号発刊にあたり、思う所を述べて題辞とする。

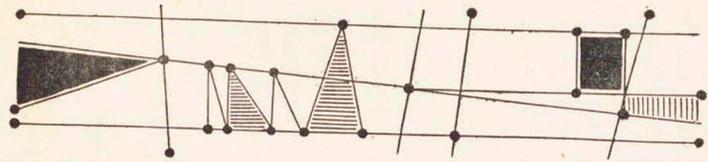
庭園 私達の手で作った憩いの場所



体育館記念バザー  
←コスチューム・ショー

家庭科制作品展示





進路状況.....88 行事一覽.....90 職員住所録.....91 編集後記.....92

一年の歩み

生徒会一年の回顧  
 第二回定期音楽会を顧みて  
 体育館落成バザーをふりかえって  
 校内球技大会について  
 体育館の落成に思う  
 庭園造り  
 校舎模型の製作について  
 文字心を語るもの  
 図書館便り  
 修学旅行記 関西の旅  
 ホーム・ルームの横顔  
 クラブだより

高橋 陽子  
 石川 文子  
 坂本 瑞子  
 佐々木 光生  
 手塚 圭子  
 山崎 光生  
 小村 延子  
 三倉 六子

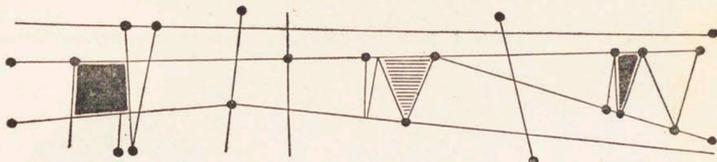
58 50 44 40 34

文集

職員歌壇  
 働きつつ学んで  
 自衛隊に勤務して  
 一年を省りみて  
 働くということ  
 短歌とその制作極限  
 病床記  
 現代に生きる女性

行川 小夜子  
 加藤 英子  
 松本 昌子  
 井上 逸子  
 藤沼 平子  
 岡部 茂子

33 32 30 29 28 27 26



進路

家庭科コースに学んで  
 農村婦人について  
 私の見た農村風景  
 私母  
 病床の母に思う  
 進学が目標  
 チェロひとすじに  
 女性と進学  
 大学への希望  
 就職の喜び  
 職場を選ぶにあたって  
 就職の就  
 私  
 就職試験準備に思う  
 私の家庭と就職  
 クラブ生活と就職  
 就職試験  
 職場内での私の生き方  
 就職に關して  
 切実な心から  
 心がまえ

高橋 野原 政子  
 松上 見順 君  
 椎上 晴順 君  
 赤井 裕子  
 瓶崎 幸子  
 斎藤 邦子  
 森山 妙子  
 鈴木 文子  
 斎藤 文子  
 今泉 清子  
 小川 静子  
 高橋 順子

21 20 20 19 18 17 16 15 14 14 13 12 11 10 9 9 8 7 6 4

特別寄稿

アメリカ便り  
 就職指導上の考察  
 特別講師  
 村岡 至直先生

25 23

巻頭言.....学校長 須賀友正.....一

ひめまつ 第十六号 目次